

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 4169
21年7月27日 (火)
Tel・Fax 095-828-1953

10月以降の土曜日休配 7月24日試行を次回に活かせ

おはようございます。
郵便制度改正に伴う郵便サービス見直しは「2021年10月以降の土曜日休配」と「2022年1月以降の送達日数の繰り下げ」の二つがメインです。

このうち「10月以降の土曜日休配」に向けた準備が本格化しています。先週24日には、オリック開催に合わせた祝日移動による連休明けを利用して試行が行われました。集配営業部の状況を報告します。

当日24日の配達物数は、平常比150〜200%。ケーブルテレビの月例ゆうメール（以下ケーブル）があつたほかは特別な大口郵便はなく、想定通りの物数だったと思います。ケーブルは計画配達（以下計配）指示が出されたため、計配された物もあり実際の配達

は150〜170%だったと思います。試行に当たり、10月以降の土曜日休配に伴う翌月曜日をいかにスムーズに配達作業が出来るか、準備及び確認作業が行われてきました。

ただ今回の施行では、土曜日の配達となつたため、ビジネス地域をはじめめとして自治体など大口配達先に休業事業所があり実際の月曜日配達とは異なります。このため曜日別区割りパターン増配置をした場合に2パス取り分け・大区分・書留受領・DOS入力方法の確認・Deat持ち出しの確認など内務作業の確認と、増配置での配達作業量の均等化が出来るかの確認などがメインでした。



まず配達状況を検証します。増配置状況は一・三集が各班一名の増配置、二集は各班一名の増配置に加え小包担務も一名増配置でした。土曜日休配が打ち出された当初は、月

曜日全員出勤でダブル増区に加え火曜日増配置と言われていたと思いません。これだったら少々郵便が多くても配達が終わるだろうと思えました。実際には昨今の要員不足もありダブル増区や火曜日の増配置は困難で、月曜日各班一名の増配置となつたと思えますが、物増の際の対応、日没打ち切りの判断など不安がありました。



実際にはこの配置でも三つの部すべてで、3時間未満の超勤で配達が終了しています。残留も少なく郵便物数の割には上手くいったのではないかと思います。今回三集の一部を除くと2時間未満の超勤で配達が完了したので、10月以降も同じ配置で行くことが予想されます。

*三集は、配達区が多く（6区）、局からの距離があり、普段から超勤の多い班の手当てが不足しているので対策を求めます。

配達作業自体は想定内だったとしても問題はありました。各担当区の配達エリアが確定していない班（早く終わる区から遅い区へ応援に行くなど含む）。混合担務者の応援エリアを決めていない班も散見されました。混合担務者からは小包や午前再配達も多い中、「聞いてない配達への応援を突然言われた」など不満が聞かれました。当日にならないと業務量がわからないかと応援量を決めないという班もあります。事前の明確な指示が必要だと思えます。

出発前の作業でも、混合担務者がどの町を大区分・順立て応援するかが明確でなく、応援に追われた結果出発が遅れ昼休みに食い込んだ例もありました。



備品関係でも混合担務者の書留カバンが足りないなど総体として、通配

区より混合担務者関連で課題が明らかになったと思います。



その他、各部とも各班一名を7時30分出勤としていましたが、この社員の30分間の業務が明確でないこと、30分配達エリアが縮小されているわけがないため、他の社員に比べ超勤が多かったです。また8時出勤者が便乗(?)して時間前着するケースは多く見られました。改めて勤務時間管理の徹底を求めます。この問題も含め7時30分出勤は検証が必要だと思えます。

次回の施行は来月8月10日です。火曜日ですが平日なのでほぼ実際の配達と同じ検証が出来ると思います。今回明らかになった問題点を検証し次回につなげる必要があります。支部も諸課題・問題点を局に申し入れ改善を求めます。報告をお願いします。

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員の正社員化を。

ゆめが、均等待遇、なげんご差別ー。

ユニオンは労基法裁判に勝利したんやー。